

デジタル技術でエンジニアリング業界をリード 地元企業との連携でサステナブルな成長を目指す

大型発電設備の設計を主に大手企業のパートナーとして発展。そこで培った制御機能検証の技術を活かし自動車の電子電装部品の評価分野へも参入。近年ではクリーンエネルギーの風力発電や燃料電池、CO₂の発生を抑える高効率ガスタービンコンバインドサイクル発電などの設計にも携わり、さまざまな業界の技術・手法を応用した提案力と事業展開力で年商36億円超に成長。「人が基本」との経営方針のもと、全社員が伸び伸びと実力を発揮できる全社員活躍企業を目指している。

所在地 長崎県長崎市飽の浦町5番3号

菱興ビル本館1階

電話/FAX 095-861-1638/095-861-5738

URL <https://www.fudo-giken.co.jp>

代表者 代表取締役社長 田中 三郎

設立 1964年

資本金 2,400万円

従業員数 332人



高品質でリーズナブルなデジタルエンジニアリングサービスの実現

実在する現場、現物を三次元データに置き換えるデジタルエンジニアリングに強みを持つ。発電設備や船舶内部などの対象物をドローンや三次元スキャナで計測、種々のソフトウェアを駆使して解析・データ化したうえで、顧客要望に合わせて、点群、3Dリアリティモデル、CGアニメーション、VRコンテンツなどさまざまな形式でアウトプットするサービスを高品質かつリーズナブルに提供している。さらに、この技術を応用し、データを基に三次元モデルを生成、図面化するリバースエンジニアリング業務にも参入し、機械設備メンテナンス事業拡大につなげている。



3Dソリューションによる多様な分野でのサービス提供

販売管理システムの自社開発による業務効率化

従来、6拠点で売上金額や経費に関する情報管理を別々の手法で実施していたが、自社で販売管理システムを開発し、データのデジタル化と一元管理を実現するとともに、特に情報の入り口となるインターフェース部分の機能を充実させたことで、利用者の入力ミスやチェック作業時間を大幅に削減。また出張経費の精算なども効率化され、社員がより生産性の高い業務に集中できるようになった。さらに、経理部門が活用できる集計機能を付加したことにより、財務管理の効率化にもつながっている。



販売管理システムによる業務効率化

地域資源を活用し、地域経済の活性化に貢献

長崎市及び市内地場企業7社で共同設立した自治体新電力会社である「株式会社ながさきサステナエナジー」へ役員、社員を派遣している。再生可能エネルギーの地産地消により地域内資金循環を促進し、その収益を地域活性化と脱炭素なまちづくりに活用するという長崎市の政策に賛同し出資したものである。このほかにも、事業展開に必要な人材育成、人材交流にも注力する。複数の大学との共同研究を通して技術レベルの向上を図るとともに、社内出身のシニア人材の再雇用、外国人材の採用など、多様な人材の活用に努めている。



田上長崎市長（左）と塩塚取締役（右）